



パネル展 開催中!

まちの将来像
について
ご意見を
お聞かせ下さい

～都市計画マスタープラン地域別構想（区プラン）を改定します～

横浜市では、まちの将来像を示す「都市計画マスタープラン地域別構想（区プラン）」の改定を進めています。

皆さまのご意見を今後のまちづくりの参考とするため、アンケートを実施しています。ぜひご協力をお願いします。

まちづくりに関する アンケート実施中！

実施期間

令和8年8月31日（月）まで

＼ スマホで回答できます！／



都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランは、都市計画法に基づく、市町村の都市計画に関する基本的な方針です。

市民の皆様など、まちに関わるすべての方々の「横浜をこんなまちにしたい」という思いをまちの将来像として共有し、協働してまちづくりを進めるための指針となるものです。

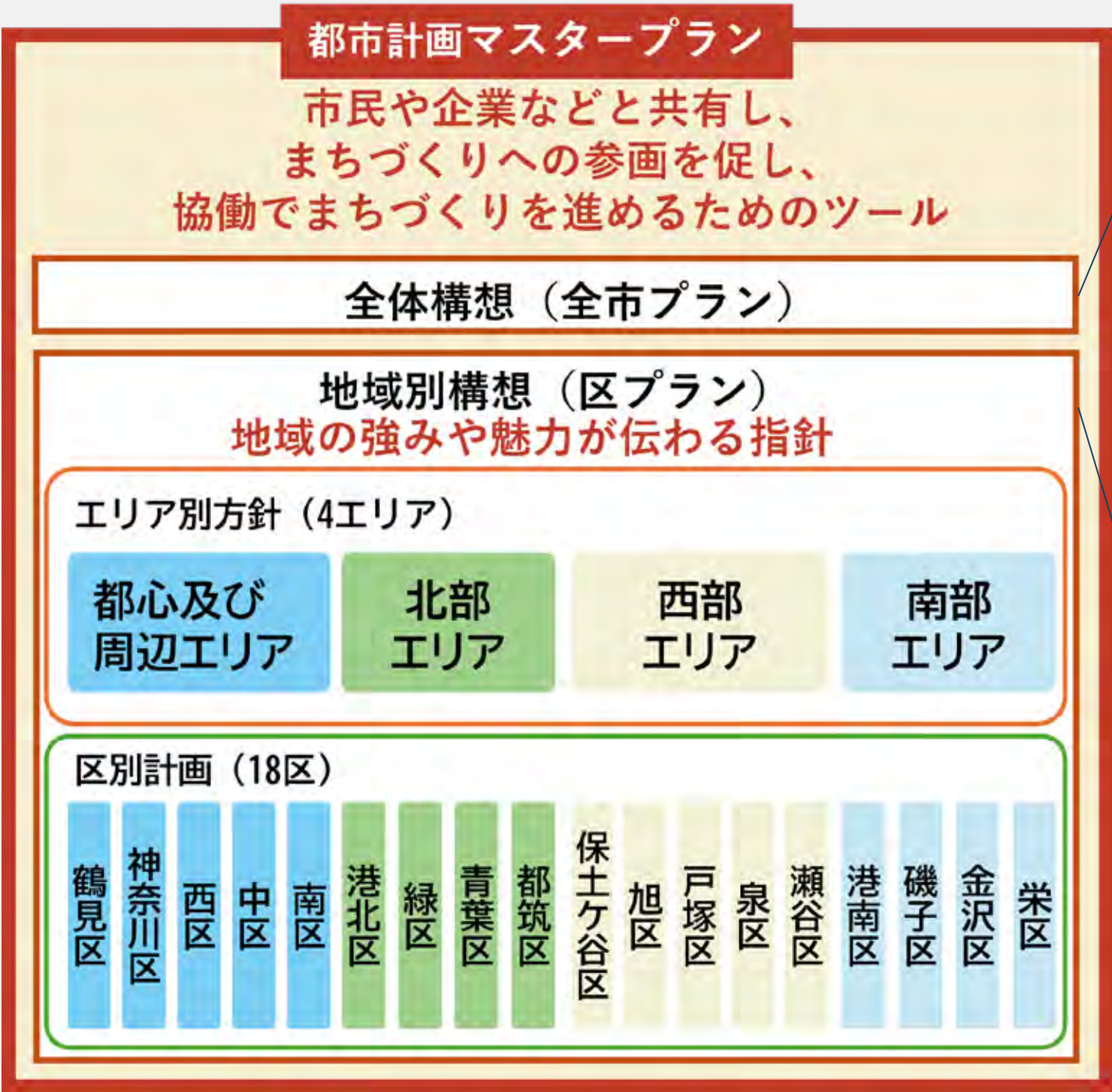
今回改定する都市計画マスタープラン地域別構想（区プラン）は、2040（令和22）年の地域ごとのまちの将来像やまちづくりの方針を示します。



問合せ先：横浜市都市整備局地域まちづくり課（045 - 671-2939）

都市計画マスタープラン地域別構想（区プラン）の改定

●都市計画マスタープランの構成



＜改定後の都市計画マスタープランの構成＞

全体構想（全市プラン）

横浜市域全体について、都市計画の基本的な方針を示したものです。横浜
市では令和7年5月に改定しました。



＜改定した全市プラン＞ 地域別構想（区プラン）

地域の強みや魅力が伝わり、地域ごとの課題や特性に応じた具体的なまちづくりの指針です。

現在の区プランは18区ごとに一冊で完結する構成ですが、今回の改定では市域を4エリアに分けたエリア別方針と18の区別計画の2部構成とする構成の見直しを行います。

●スケジュール

エリア別方針は令和10年度の策定を目指します。
区別計画は、前半区（令和10年度策定予定）と後半区（令和11年度策定予定）に分けて策定を進めていきます。

		令和9年度	令和10年度	令和11年度
今回 アンケート パネル展	エリア別方針	素案公表 意見募集	原案公表 意見募集	策定
	区別計画（前半区）	素案公表 意見募集	原案公表 意見募集	策定
	区別計画（後半区）		素案公表 意見募集	原案公表 意見募集 策定

- 前半区（8区）
西区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、戸塚区、泉区
- 後半区（10区）
鶴見区、神奈川区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区、栄区、瀬谷区

エリア別方針のエリア設定の考え方

土地利用の特徴や、暮らしの実感に基づく鉄道沿線等の生活圏や経済活動ごとに、市域を4つのエリアに分けて改定を進めます。

主に環状2号線の環内側の既成市街地に位置するエリア

都心及び周辺エリア 鶴見区・神奈川区・西区・中区・南区

主に環状2号線の環外側を鉄道沿線等の生活圏ごとに分けた3エリア

北部エリア 港北区、緑区、青葉区、都筑区

西部エリア 保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区

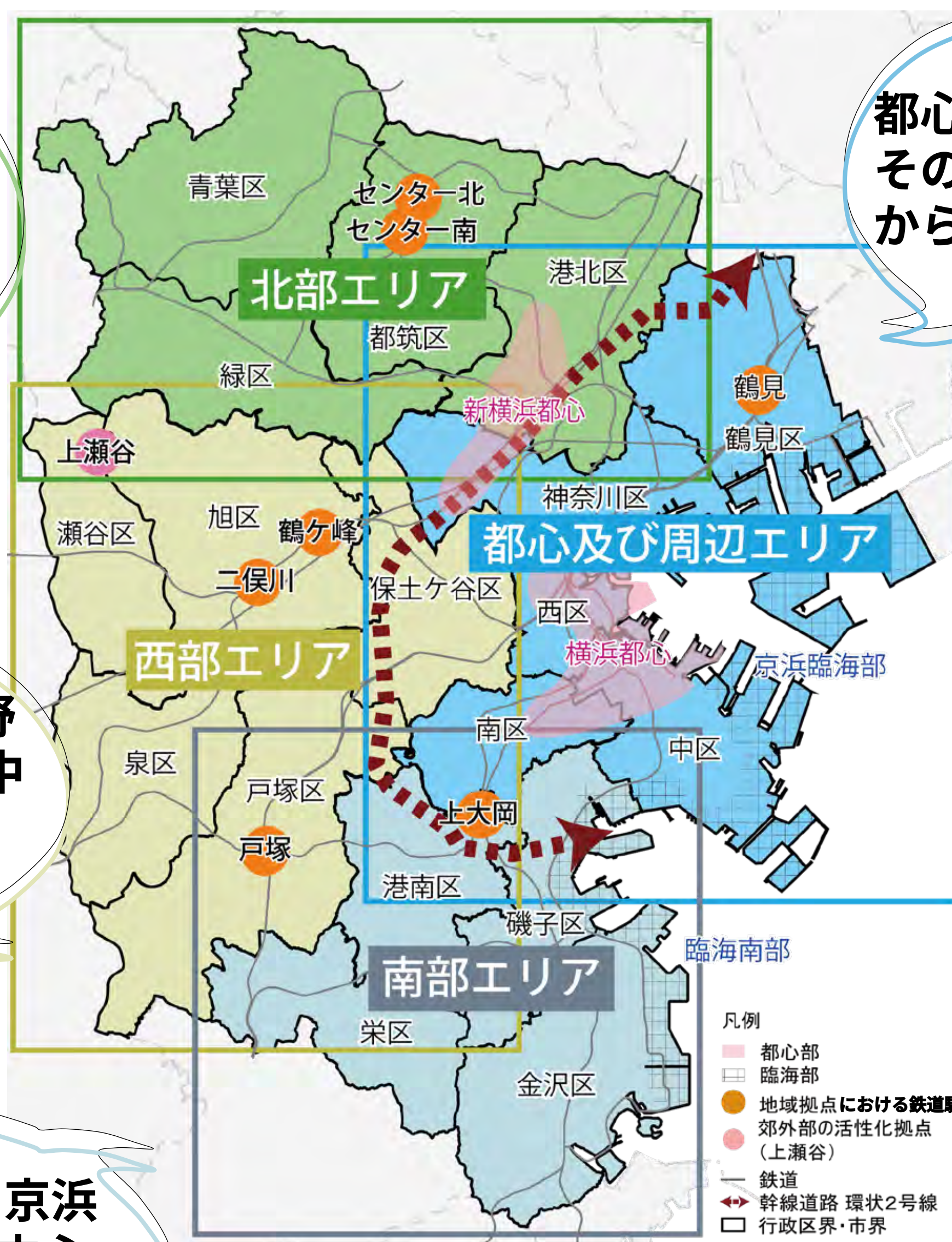
南部エリア 港南区、磯子区、金沢区、栄区

地下鉄3号線、
東急田園都市線・
東横線、JR横浜
線を中心とする
エリア

都心部と臨海部、
その周辺の住宅地
からなるエリア

相鉄本線・いずみ野
線、JR横須賀線を中心とするエリア

JR根岸線、京浜
急行本線を中心
とするエリア

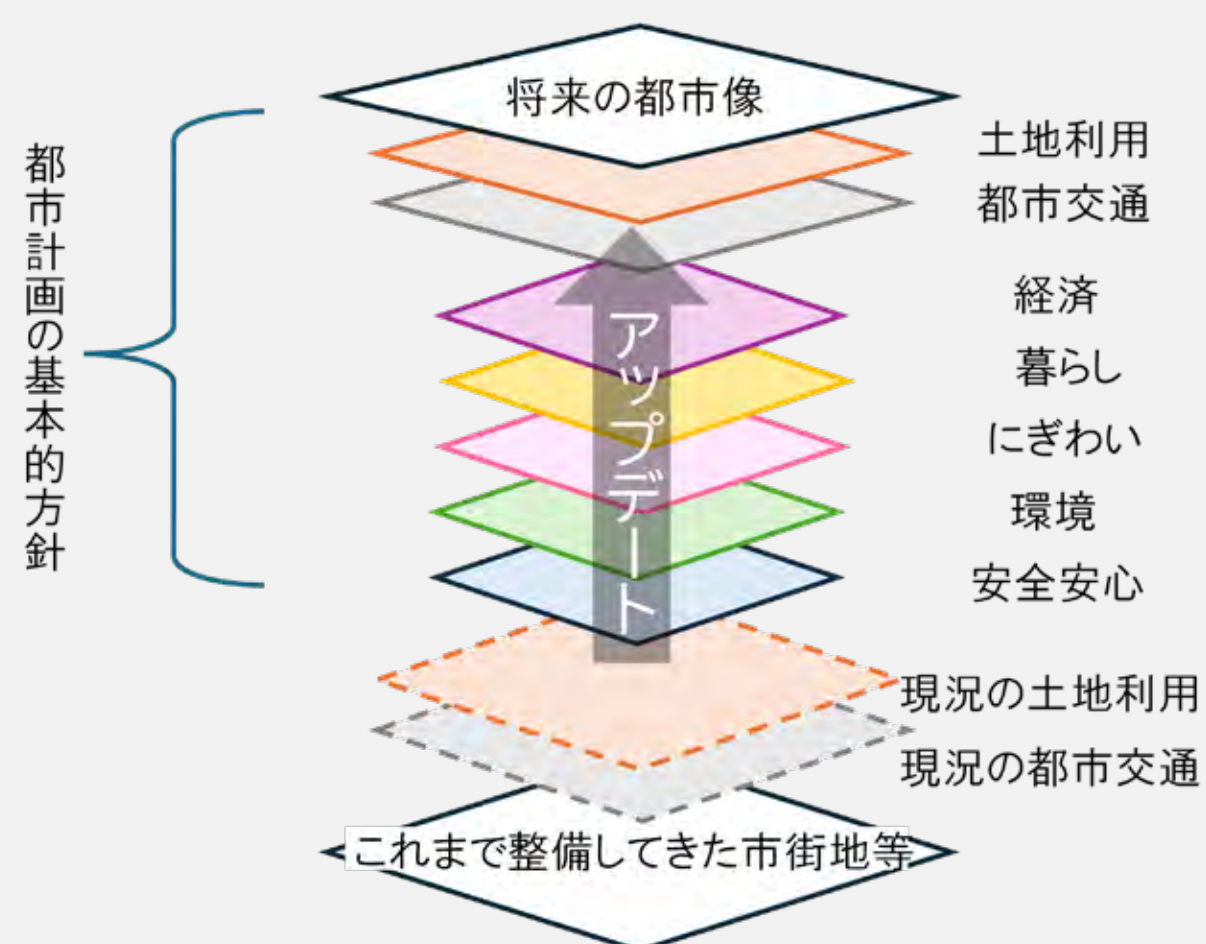


4つのエリアは区の境界で分けていますが、隣接するエリアの拠点や交通網との関係性も踏まえて記載し、各エリアの図も少し広い範囲で図示して隣接エリアとの関係性が分かるようにします。

エリア別方針の5つのテーマと2つの方針

●エリア別方針で示すこと

エリアごとの将来の都市像と、5つのテーマ（経済・暮らし・にぎわい・環境・安全安心）ごとの都市づくりの方針、その実現に向けた2つの方針（土地利用や都市交通）を示します。



経済

- ・臨海部、内陸工業集積地域の機能維持・強化
- ・立地特性を活かした新たな成長産業の拠点形成など



暮らし

- ・駅周辺や郊外住宅地等での生活利便施設など多様な機能の充実
- ・地域交流や活動の場づくりなど



にぎわい

- ・地域ごとの歴史や個性を活かしたにぎわいづくり
- ・多くの来街者が訪れる商業・文化・観光機能などの集積など



環境

- ・樹林地や農地、海や河川など自然が身近に感じられる環境づくり
- ・生物多様性に配慮した自然環境の保全・創出など



安全安心

- ・地域の特性に応じた、地震や火災、風水害への対策
- ・インフラの強靱化や広域的な防災拠点の整備など



土地利用

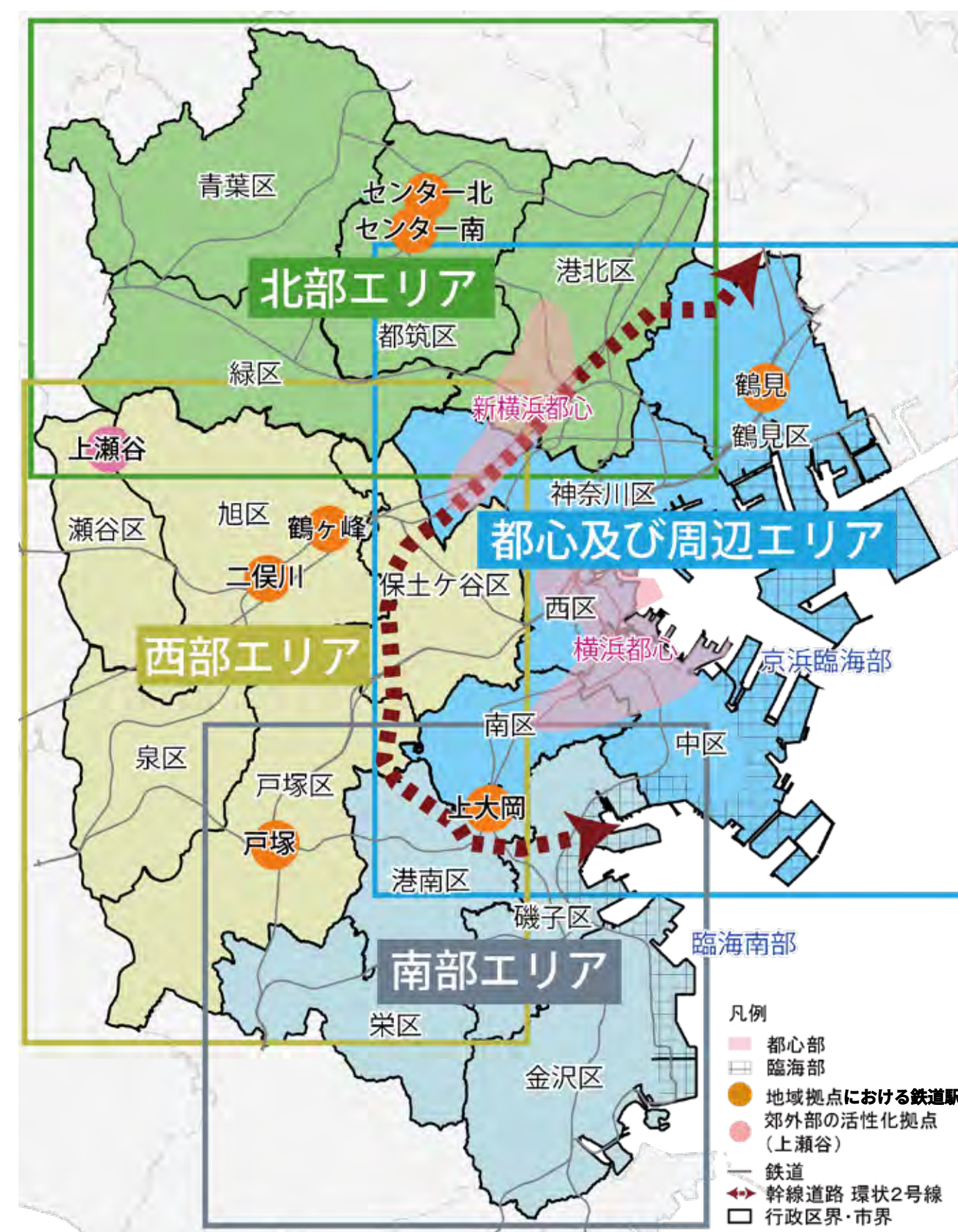
- ・都市構造や地域特性、用途地域等を踏まえ、土地利用の基本的な考え方

都市交通

- ・道路や鉄道等の各交通手段の特性を踏まえ、交通体系の基本的な考え方

北部エリアの概況（港北・緑・青葉・都筑）

新横浜都心（新横浜地区、新羽地区、城郷地区）や**センター北・センター南駅周辺**を拠点とし、鉄道での**東京都心・新横浜方面へのアクセスも良好なエリア**です。



交通

・東急田園都市線・東横線での東京都心へのアクセスがよく、JR横浜線、横浜市営地下鉄線での新横浜方面へのアクセスも良好です。

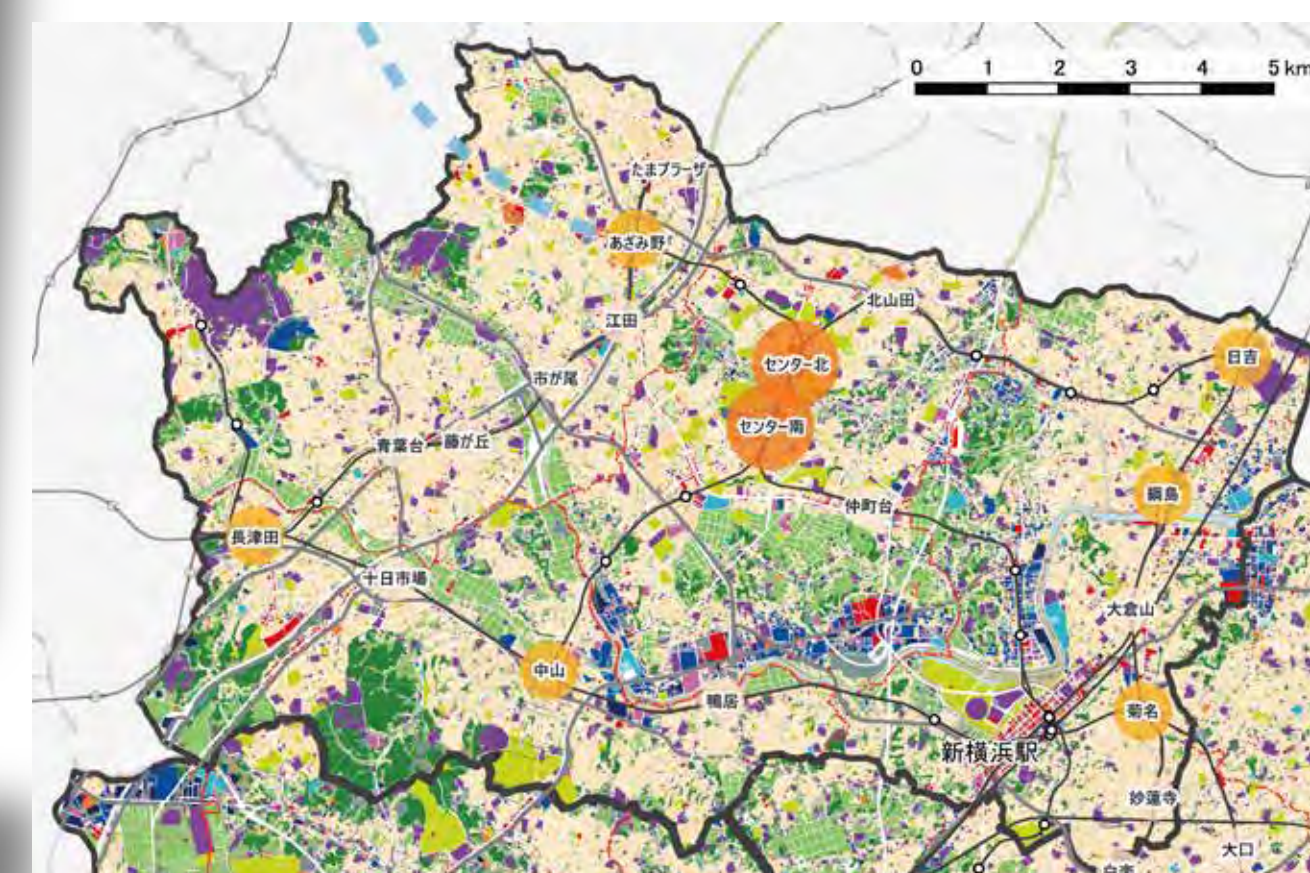
・東名高速道路や横浜環状北西線などにより、東京方面や臨海部へのアクセスが良好です。

・新横浜都心や、地域拠点であるセンター北・南には、大規模な業務・商業施設が多数立地しています。

土地利用

・その他の駅周辺には、商業や集合住宅が、丘陵部と低地部には戸建て住宅を中心とした住宅地も広がっています。

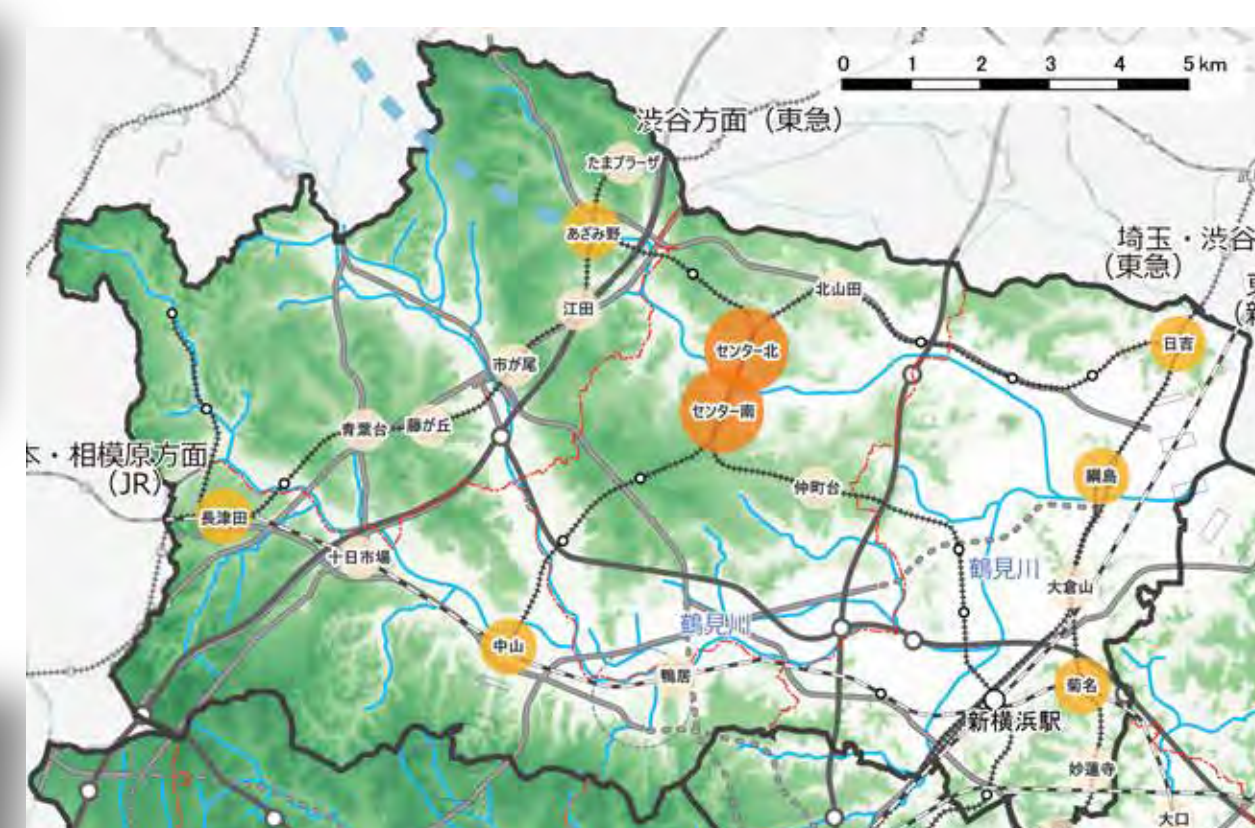
・鶴見川流域沿いを中心に、工業・物流施設等が多数立地しているほか、まとまった農地や緑が広がっており、自然的土地利用も多いエリアです。



※令和2年度都市計画基礎調査土地利用現況図より

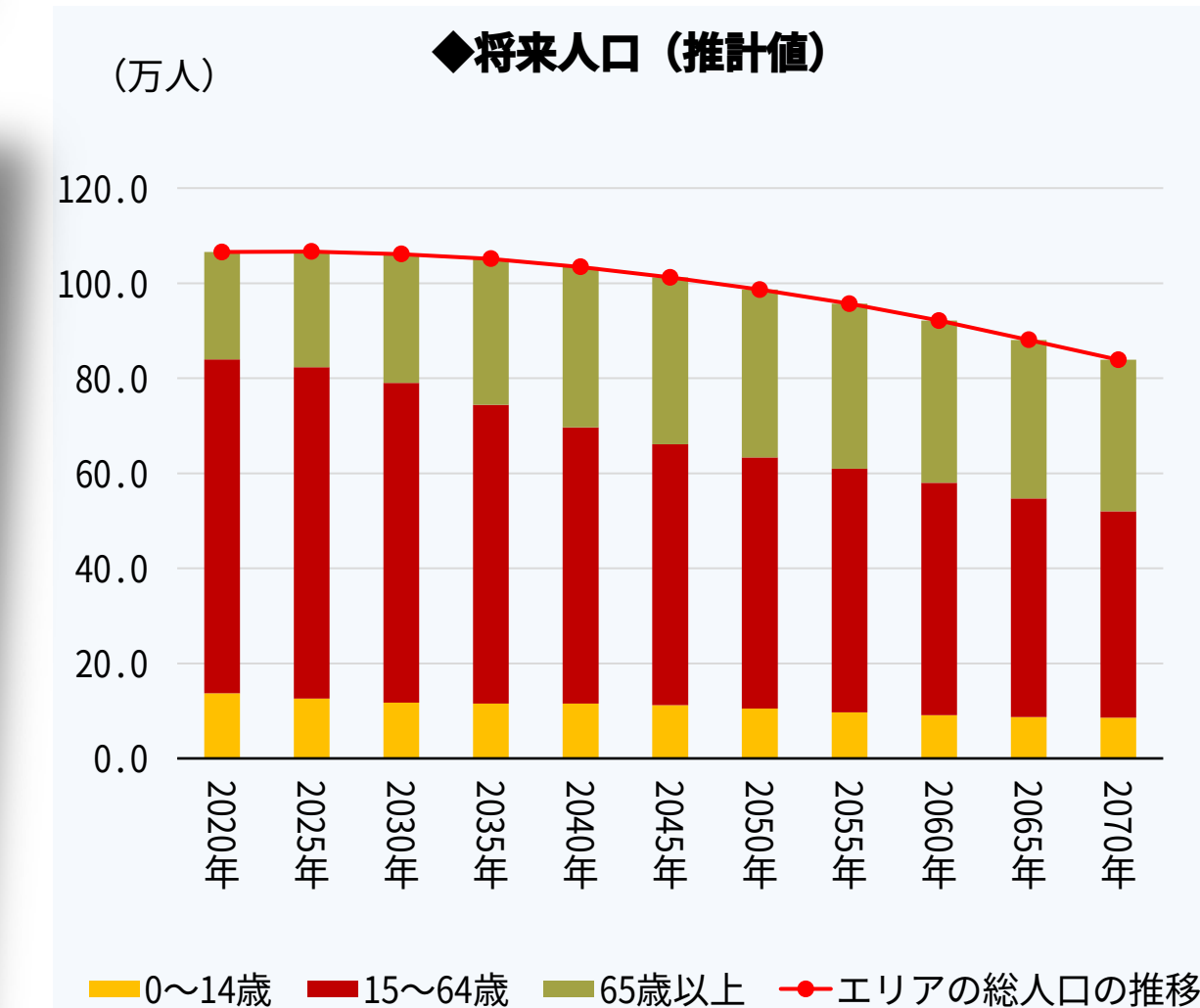
地形

・丘陵部の台地や斜面地、鶴見川流域に細長く広がる低地部で構成されています。



人口動態

・川崎市等からの転入が超過し、東京都23区へは転出が超過しています。過去10年間でエリア内の人口は増加していますが、将来人口の推移によると、減少局面に入りつつあります。今後は減少がさらに進み、2070年には2020年と比べて人口が約2割減り、高齢者の割合も約4割に増える見込みです。

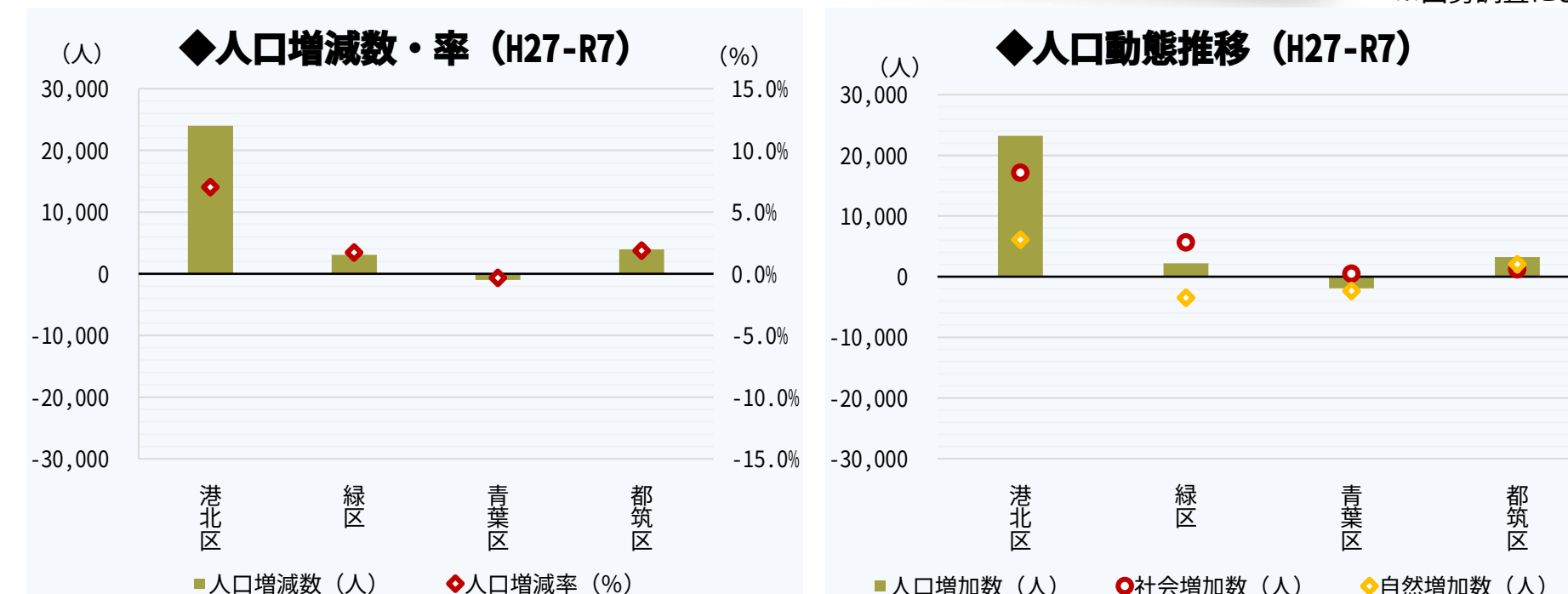


※国勢調査によるデータ

成り立ち

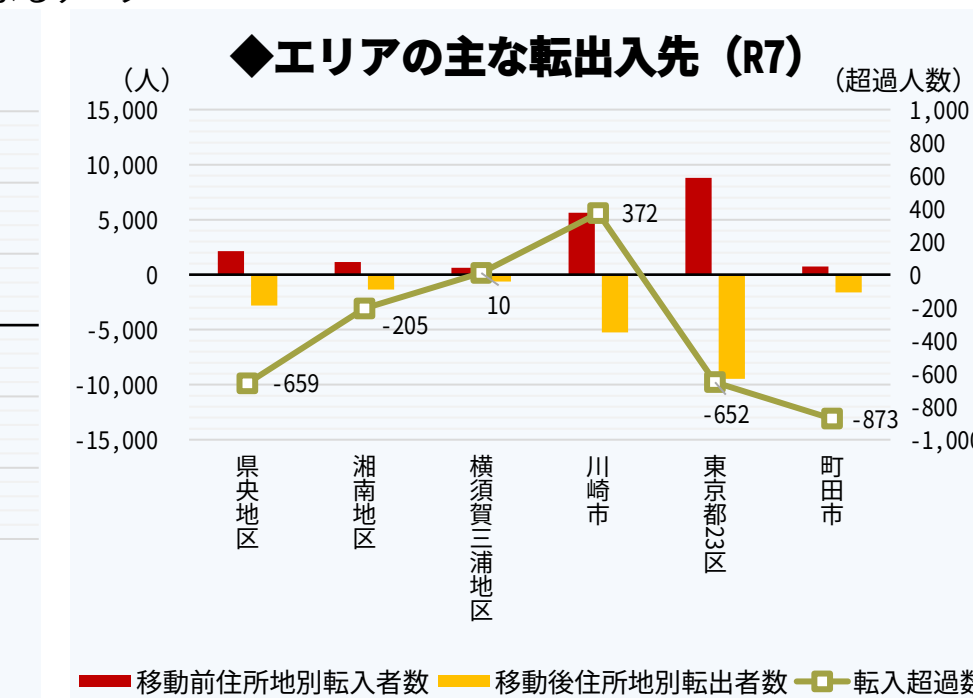
・1908年の鉄道の開通（東神奈川-八王子間）等を契機に、鉄道沿線や河川沿いで市街地の形成や工業の集積が始まりました。

・高度経済成長期には、土地区画整理事業による大規模な住宅地開発が各所で行われ、新横浜駅周辺では新幹線開通に伴い、市の新たな拠点としての整備が進みました。



※国勢調査によるデータ

※住民基本台帳に基づくデータ



※住民基本台帳に基づくデータ

北部エリアの概況（港北・緑・青葉・都筑）

・横浜市営地下鉄ブルーライン（横浜市高速鉄道3号線）の延伸は早期実現に向けて検討が進めています。広域的な交通ネットワークの強化や地域の活性化が期待されています。また、新駅周辺のまちづくりの検討が求められています。

・駅やバス停から遠い、坂が多い、高齢化が進んでいる等のエリアでは、日常的な移動手段の確保や買い物利便性の向上などが求められています。

・身近な自然環境をまちの魅力として発信できるよう、緑地の保全や、市民が楽しめる場としての活用が求められています。

・環状4号線を活用した複数の鉄道路線とつながる公共交通ネットワークの強化等により、移動しやすいまちの実現が期待されます。

・寺家ふるさと村や新治市民の森などでは、里山や水田の景観をはじめとした豊かな自然や農地が広がり、良好な景観が保たれています。

・センター北・センター南駅周辺は、商業や公共施設などが集まるエリアであり、社会の変化に応じた新たな土地利用や機能の誘導が求められています。

・計画的に整備された住宅地では、住民の高齢化や住宅の老朽化が進み、建替えなどが進められています。

・新横浜駅周辺は、新幹線を含む複数路線が利用できる広域交通結節点であり、業務・商業機能のさらなる集積や、にぎわいの創出と滞留・回遊性の向上を目指したまちづくりが求められています。

・城郷地区では、新横浜公園や大規模集客施設のにぎわいを活かしながら、多様な都市機能の集積や周辺地域との回遊性の向上等のまちづくりを進める必要があります。

・新羽地区では、職住近接したものづくりの拠点の一つとして、技術発展と新たなビジネス機会を促進するまちづくりを進める必要があります。

・横浜環状北線や北西線の整備により交通便利性が向上し、地域の活力向上が期待されています。

・内陸の工業が集積する地域では、産業の維持・強化を図りながら、住環境との調和を考えた土地利用が求められています。

・新たな成長産業の立地を促進するとともに、大学などと連携した機能強化が求められています。

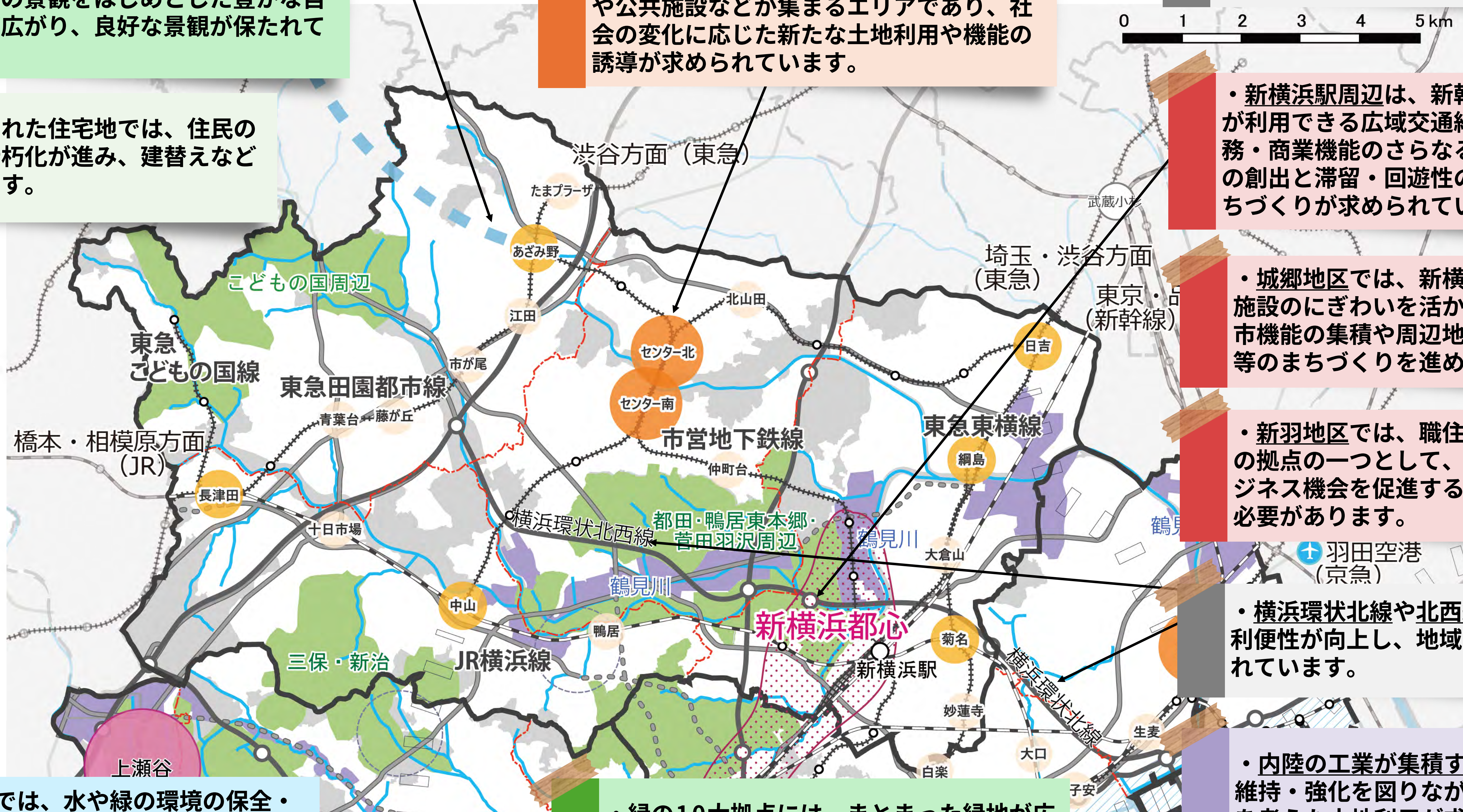
・交通結節機能の高い拠点駅などでは、業務や商業機能が集まっており、交通結節点となる駅などでは、インフラの再整備や歩行者空間のバリアフリー化などが求められています。

・住宅地では、多様な世帯が住みやすい環境づくりに向けて、生活利便施設の誘導や、ニーズの変化に応じたまちのルール作り等の取組が求められています。

・緑の10大拠点には、まとまった緑地が広がっています。市街地の中にも樹林地や農地などが点在しています。

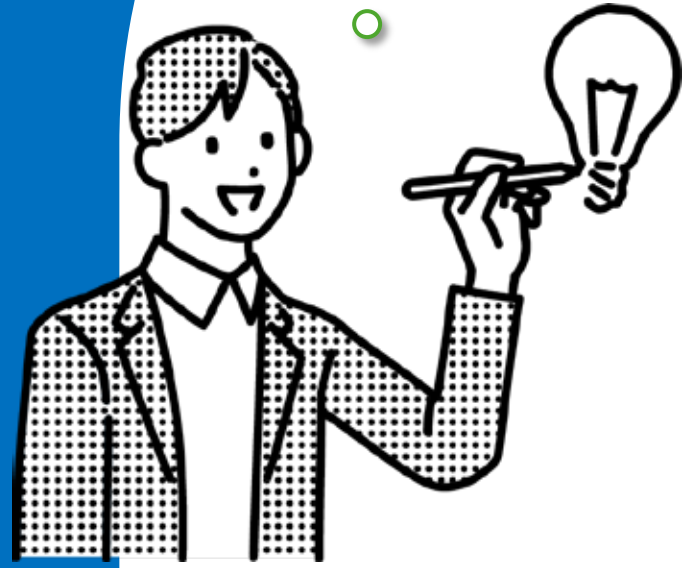
・鶴見川流域では、水や緑の環境の保全・活用とともに、洪水対策など安全性の向上が必要です。

- 凡例
- 横浜都心・新横浜都心
 - 主要駅 / 地域拠点における鉄道路線
 - 主要駅 / 交通結節機能の高い拠点駅
 - 主要駅 / 利便性の高い鉄道路線
 - 郊外部の活性化拠点
 - 鉄道(JR)
 - 鉄道(私鉄・地下鉄)
 - 鉄道(構想中)
 - 市営地下鉄ブルーライン延伸
 - 高速道路
 - 高速道路(構想中)
 - 幹線道路(3環10放+国道)
 - 幹線道路(3環10放+国道)(未整備)
 - 河川
 - 内陸工業集積地域
 - 臨海部
 - 緑の10大拠点
 - 市街地調整区域
 - 行政区界
 - エリア境界



区のみいよくはなんだろう？

- あなたが「区の魅力」と感じるものは何ですか？
あてはまる項目にシールを貼ってください。
- 魅力を感じる具体的な場所があれば、項目欄内へ付箋に記入して貼ってください。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

- ・その他普段感じる区の魅力や、魅力を感じる具体的な場所があれば、付箋に記入して貼ってください。